

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 小松製作所 大阪工場 新	階数	地上2F
建設地	大阪府枚方市上野三丁目500-1	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	10 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年7月 予定	評価の実施日	2016年12月1日
敷地面積	377,144 m <sup>2</sup>	作成者	鹿島建設(株) 細田
建築面積	3,369 m <sup>2</sup>	確認日	2015年12月2日
延床面積	3,573 m <sup>2</sup>	確認者	鹿島建設(株) 堀江



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	自然エネルギーを利用し、省エネを計る。	その他 0
Q1 室内環境	居室と熱処理室を明快に分離し、居室には断熱性のある外皮を計画。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内緑地の保存。
LR1 エネルギー	自然換気の利用。 自然光の利用。 地熱の利用。	LR3 敷地外環境 気象情報を踏まえ、熱処理室の排熱が効果的となる屋根形状。
Q2 サービス性能	設備機器の更新性への配慮。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げの明快な分離。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0129

Osakafu-新築・既存 2015V1.02

<b>【建物概要】</b>		建物名称	株式会社 小松製作所 大阪工場 新熱処理棟建設工事					
		建設地	大阪府枚方市上野三丁目500-1					
		用途/区分	工場					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価	★★★★☆				A		
	CO2削減	★★★★☆				3		
	省エネ対策	★★★★☆				3		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆				4		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	地中熱	○
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告							報告しない	
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.1	3	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体		3		
				住戸・宿泊				
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						3.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						4.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						3.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						3.0
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				2.2			
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				4.0	4	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				4.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		熱処理室の自然換気を効果的にする凸屋根						